



中野区避難所運営マニュアルについて

令和7年

中野区 総務部 防災危機管理課



中野区避難所運営マニュアル

このマニュアルは、下記の避難所で活用します。

避難所名	
収容想定数	約 人
地域本部名	

202 年 月

中野区総務部防災危機管理課

中野区内「震度5強以上」の地震が発生した場合、被害や避難者の状況を把握し、避難所の開設を検討します。

避難所運営マニュアルについて

大規模かつ突発的な災害が発生した場合に、区と「地域防災会」、施設管理者(学校長)等が連携し、避難所の多様な課題に的確に対応し、円滑に避難所運営を行うため、避難所に関する基本的事項、避難所運営組織のあり方や活動内容など、避難所運営に関して、「いつ・誰が・何を・どのように」行うべきかを記載しています。

避難所は、すべての人が助け合いながら、運営することとしていることから、本マニュアルを通じて、多くの方が震災時の行動に対して理解を深めて

避難所は、中野区の震度が**5強**以上の時に、避難所の開設を検討することとしています。

どのような**災害**に備えているのか？

最新の被害想定

- 中野区では、右に示す「首都直下地震」の被害想定に基づき避難所を整備しています。
- 避難所**運営**については、地域防災会の皆さまとともに協議を重ねています。(避難所運営会議)
- 被害想定では、前回の想定と比較し被害が減少していますが、震災被害をゼロに近づけることを目指し、一人ひとりが、**日頃から災害に備える**ことが大切であると考えています。

項目	平成24年4月	令和4年5月
震源地	東京湾北部	多摩東部
規模・最大震度	M7.3・ 震度6強	
時期・時刻・風速(m/s)	冬18時・風速8m/s	
(人的被害)		
死者数	214人	98人
負傷者数	2,415人	2,301人
(建物被害)		
焼失棟数	7,222棟 (出火件数24件)	1,303棟 (出火件数11件)
全壊棟数	2,241棟	1,036棟
(避難者数等)		
避難者数	76,807人 避難所避難者 49,925人	48,402人 避難所避難者 32,268人
帰宅困難者数	58,123人	56,532人

地震発生時の行動とは？

地震発生 = (イコール) すぐに避難所ではありません。

1. まずは、自分の命は自分で守る **自助**
(自分や家族にけがは？家の被害は？火事は？)
2. 続いて、自分たちのまちを、自分たちが守る **共助**
(隣近所の人や町の被害は？火災は？)
3. 自宅や地域ににとどまることが危険であれば、避難所や広域避難場所、あるいは安全なオープンスペース(広場)などに避難します。



避難所運営マニュアルのご案内

- 全体版
 - ・中野区避難所マニュアル全編をご覧ください。
- 第1章 震災時の避難所について
 - ・避難所運営マニュアルの目的や、避難所の主な役割などを説明しています。
- 第2章 避難所開設に向けて
 - ・大地震発生後の、「自助」「共助」から「避難所」に至る行動を説明しています。
- 第3章 避難所の開設準備
 - ・地域での共助活動から、避難所運営を始めるまでの流れを説明しています。
- 第4章 避難所の施設活用
 - ・避難所の施設活用について説明しています。

避難所運営マニュアルのご案内

- 第5章 避難者の受入準備について
 - ・避難者の受入に係る、開設準備などについて説明しています。
- 第6章 避難所の運営
 - ・避難所運営組織各部の主な活動内容について説明しています。
- 第7章 要配慮者への配慮
 - ・避難所生活における、必要な配慮(心配り)について説明しています。
- 備蓄物資一覧
 - ・避難所備蓄している物の資一覧です。
- 避難所施設点検マニュアル
 - ・二次被害の発生を防ぐための、施設点検の手順を説明しています。
- 応急給水栓操作マニュアル
 - ・避難所における、飲料水確保のための資機材操作マニュアル